



**三和油化工業株式会社**

東証スタンダード市場／名証メイン市場  
証券コード：4125

# 2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024年2月13日



# 2024年3月期 第3四半期 決算概要



## 2024年3月期 第3四半期累計

### 売上高

**11,949**百万円

【前年同期比】△**10.5%**

### 営業利益

**1,071**百万円

【前年同期比】△**25.4%**

### 営業利益率

**9.0%**

【前年同期比】△**1.8PT**

### 事業環境

- 米中対立、ウクライナ・ロシア情勢等の地政学リスクや為替影響により、資源・エネルギーコストは高水準
- 国内は景気回復が期待される一方、半導体・化学業界の一部では稼働回復遅れや在庫調整も見られる

### 内部対応

- 産業廃棄物の有効利用や電子材料向け製品の供給に注力
- 次年度以降の半導体・電池業界の回復に向けて、設備投資を進める

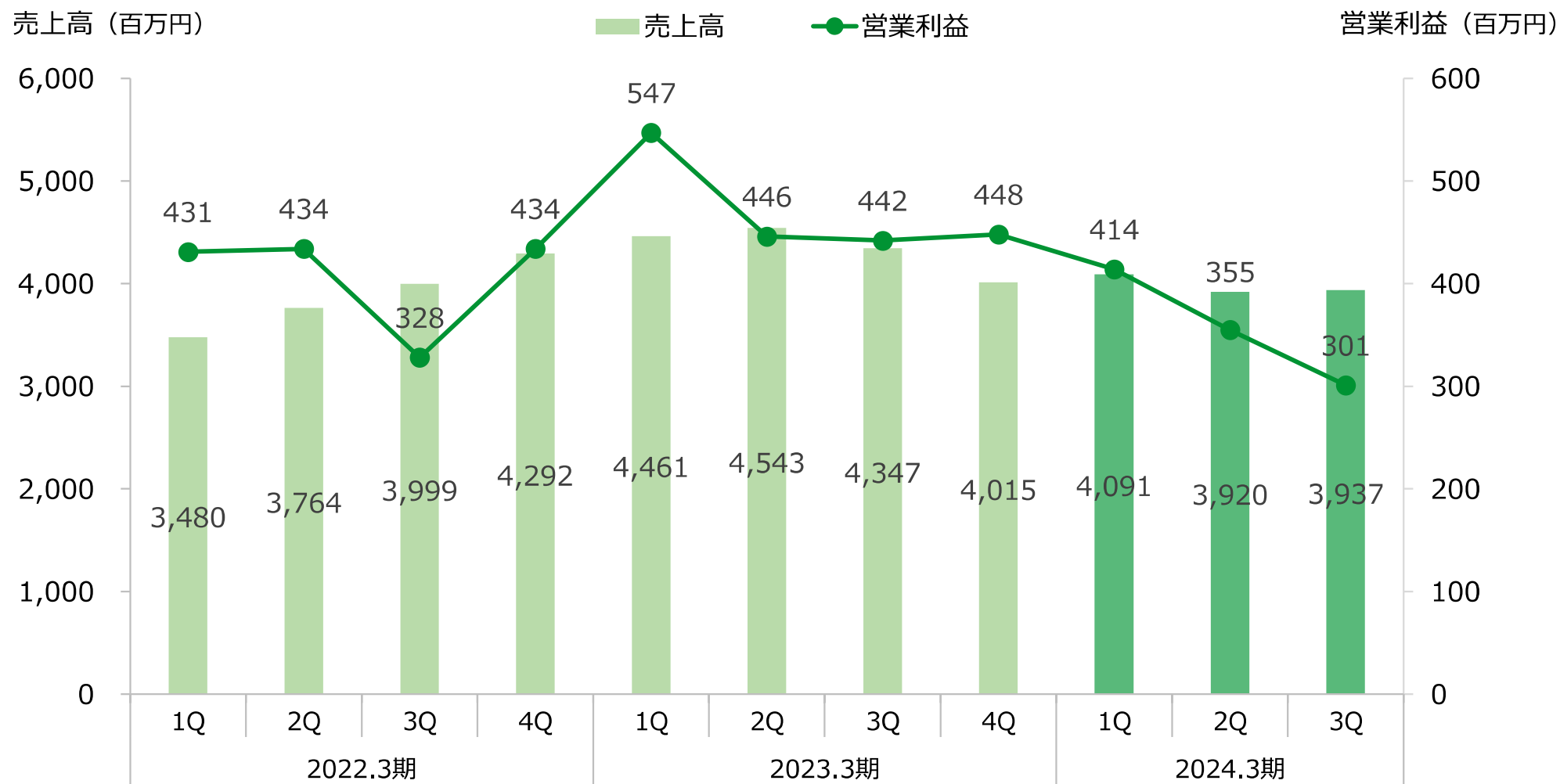
⇒ **顧客の稼働回復遅れや在庫調整等、外部環境の影響が大きく減収減益**



- 半導体・化学業界の稼働回復遅れ 及び 社内コスト増により、前年同期比で減収減益
- 利益率の高いリサイクル事業が伸長し、セールスマックスの変化により粗利率は上昇

(単位：百万円)	2023年3月期 3Q累計		2024年3月期 3Q累計		前年同期比	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	増減比
売上高	13,352	100.0%	11,949	100.0%	△1,402	△10.5%
売上総利益	3,736	28.0%	3,582	30.0%	△154	△4.1%
営業利益	1,436	10.8%	1,071	9.0%	△365	△25.4%
経常利益	1,471	11.0%	1,109	9.3%	△361	△24.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	964	7.2%	752	6.3%	△211	△21.9%

- 売上高は横ばいも、外部への支払コスト増加（P.10参照）により減益
- 廃棄物の収集数量は増加傾向であるため、付加価値を向上させる活動に注力していく

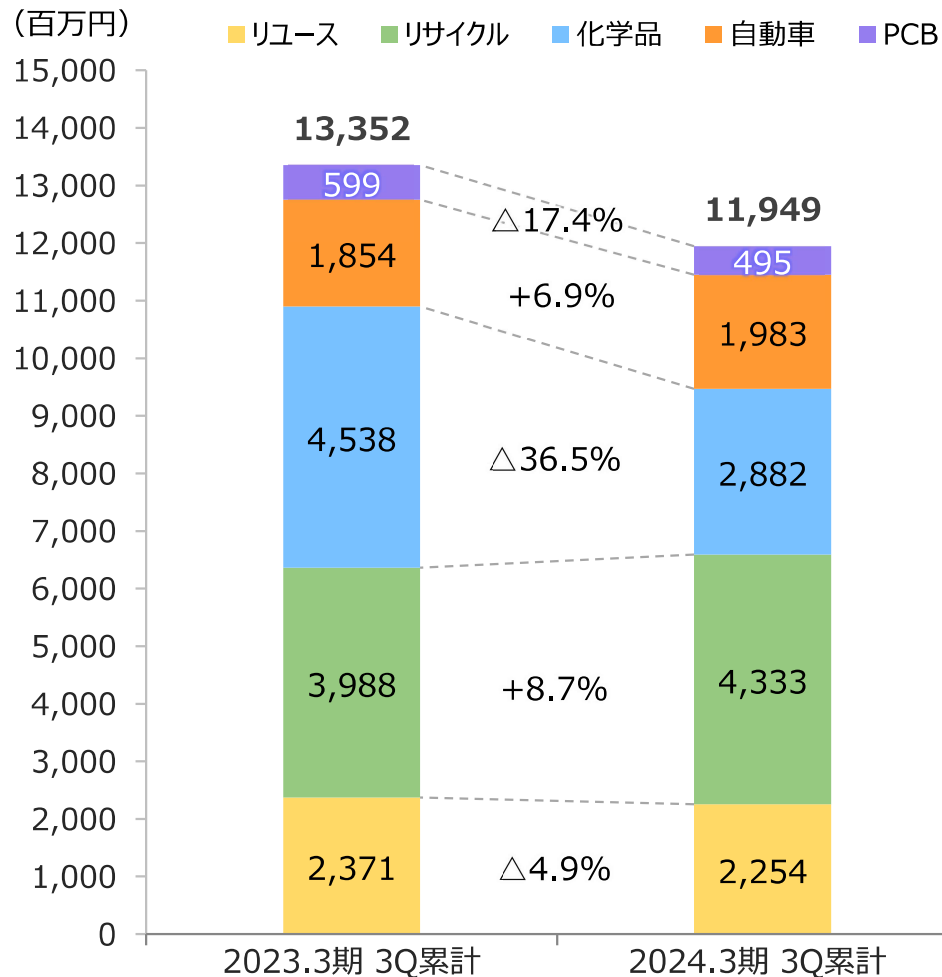


※2022.3期 3 Qは上場関連費用等を計上しております

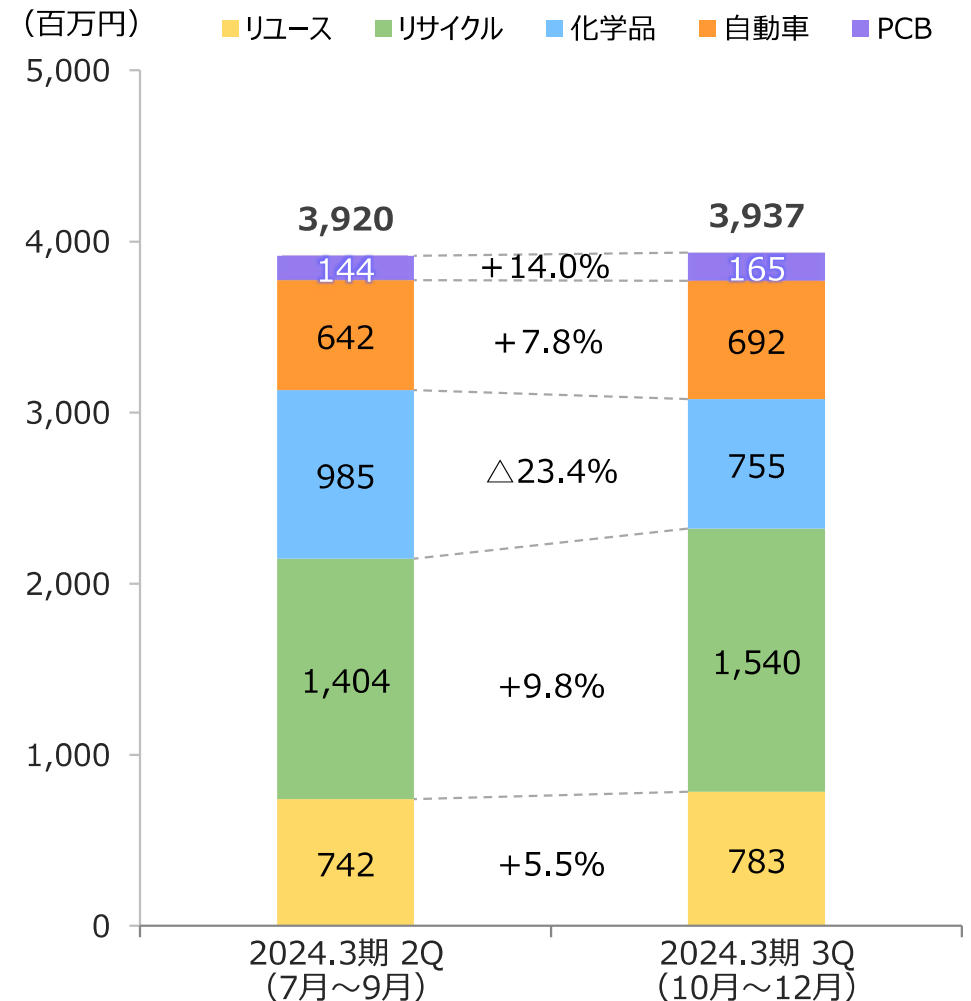
※2022.3期 1 Q・ 2 Qの数値については、監査法人によるレビュー対象外であります

- 化学品事業は主要品目の単価低下と需要低迷に加え、電池向け主力設備を3Qから停止
- 顧客ニーズの強い **リユース・リサイクル事業の数量は増加傾向であり、売上を下支え**

## 前年同期比（YoY）



## 前四半期比（QoQ）

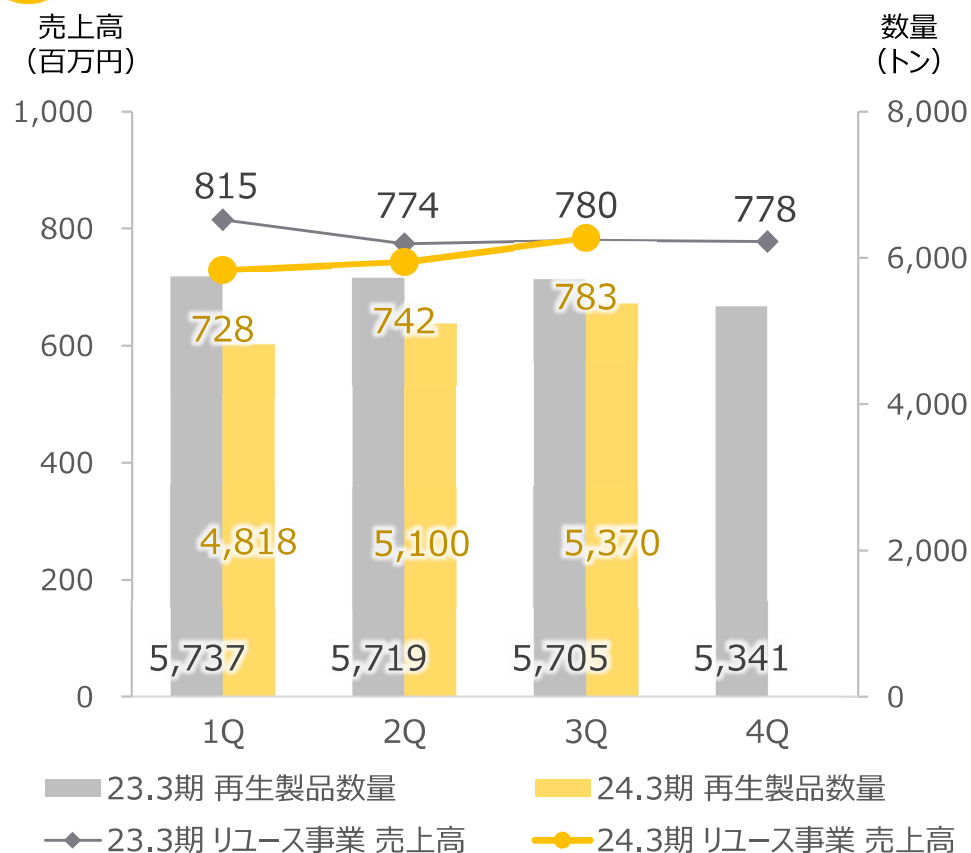




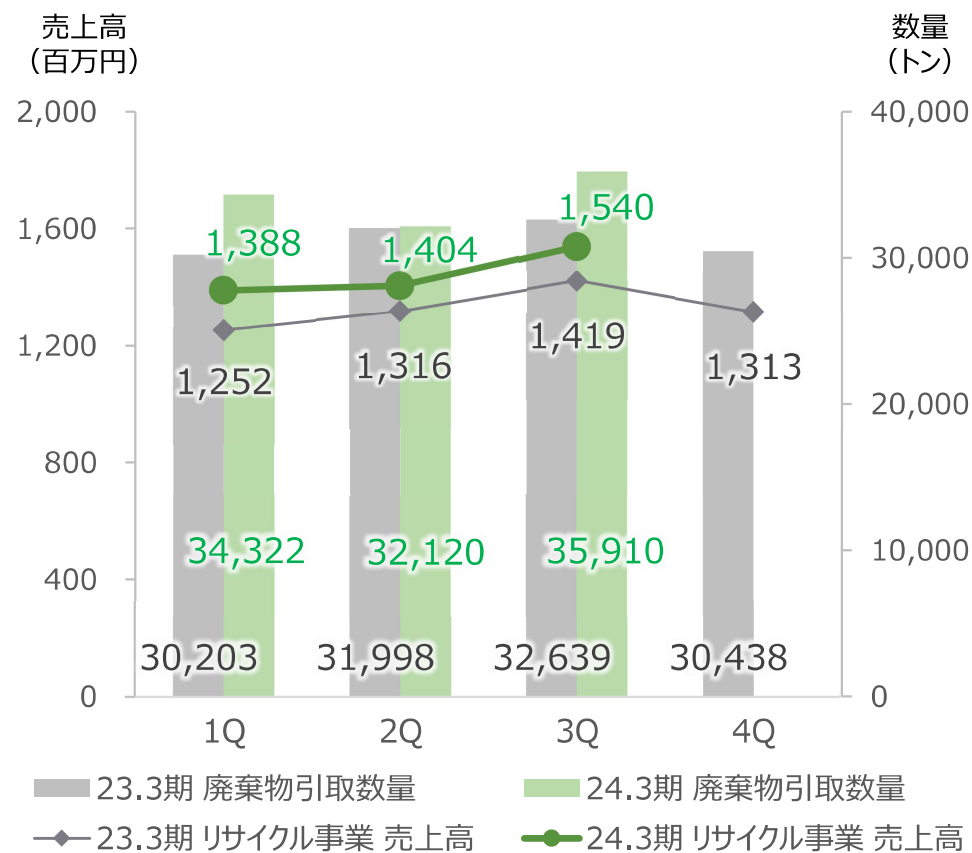
# リユース、リサイクル事業（四半期ごとの推移）



## リユース事業



## リサイクル事業



### ■ リユース事業売上と再生製品販売数量

- リン酸は厳しい状況継続も、**溶剤系は着実に数量増加傾向**
- 原料収集が進み、在庫増加** ⇒ 今後、再生製品の販売強化（溶剤廃液のスポット獲得もあり）

### ■ リサイクル事業売上と廃棄物引取数量

- 茨城、和歌山、本社工場の**3拠点で廃棄物引取数量増加**
- 再生燃料の販売数量も茨城、本社工場で増加

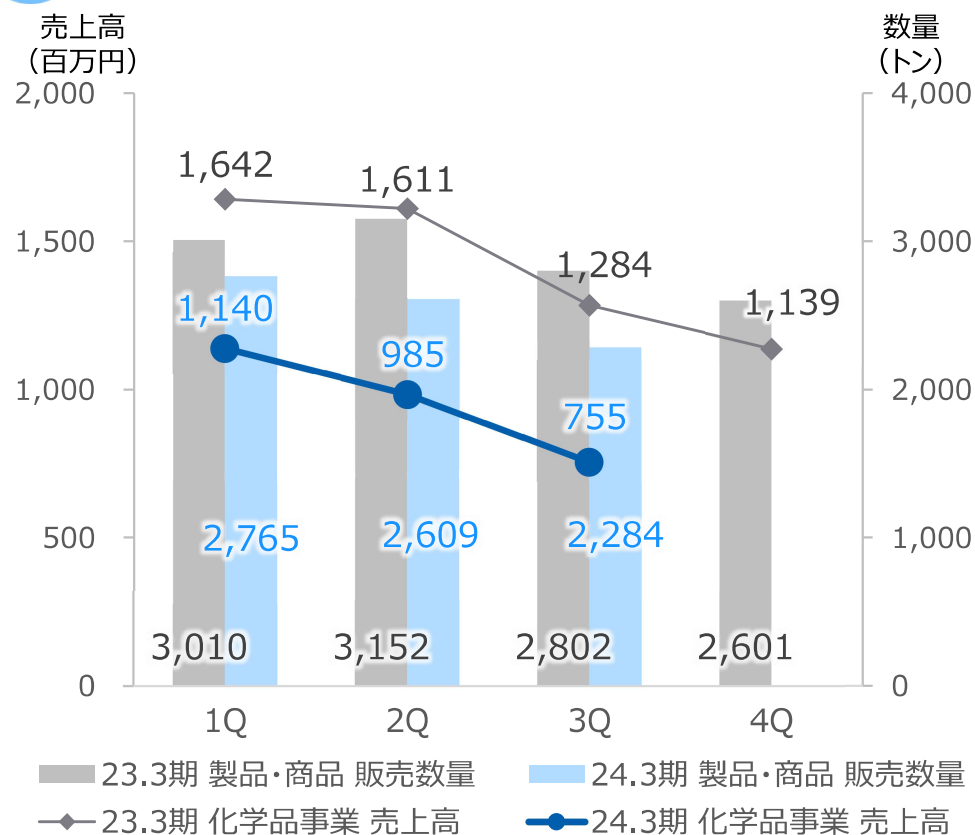
※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております



# 化学品、自動車事業（四半期ごとの推移）



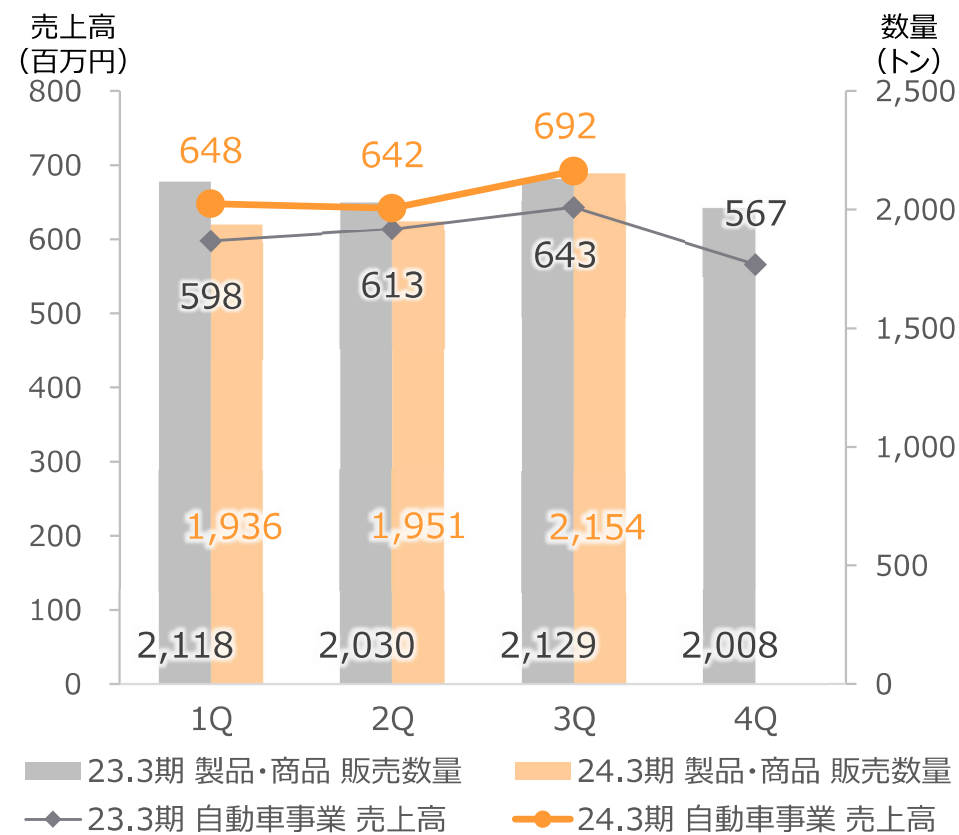
## 化学品事業



※ 製品：当社グループが品質保証する製造品 商品：転売品



## 自動車事業



### 自動車事業売上と製品・商品販売数量

- 洗浄剤の拡販が進展、3Qは寒冷地向け不凍液が需要期
- 解体作業（特定建設業）の大型仕掛あり ⇒ 4Qに売上

### 化学品事業売上と製品・商品販売数量

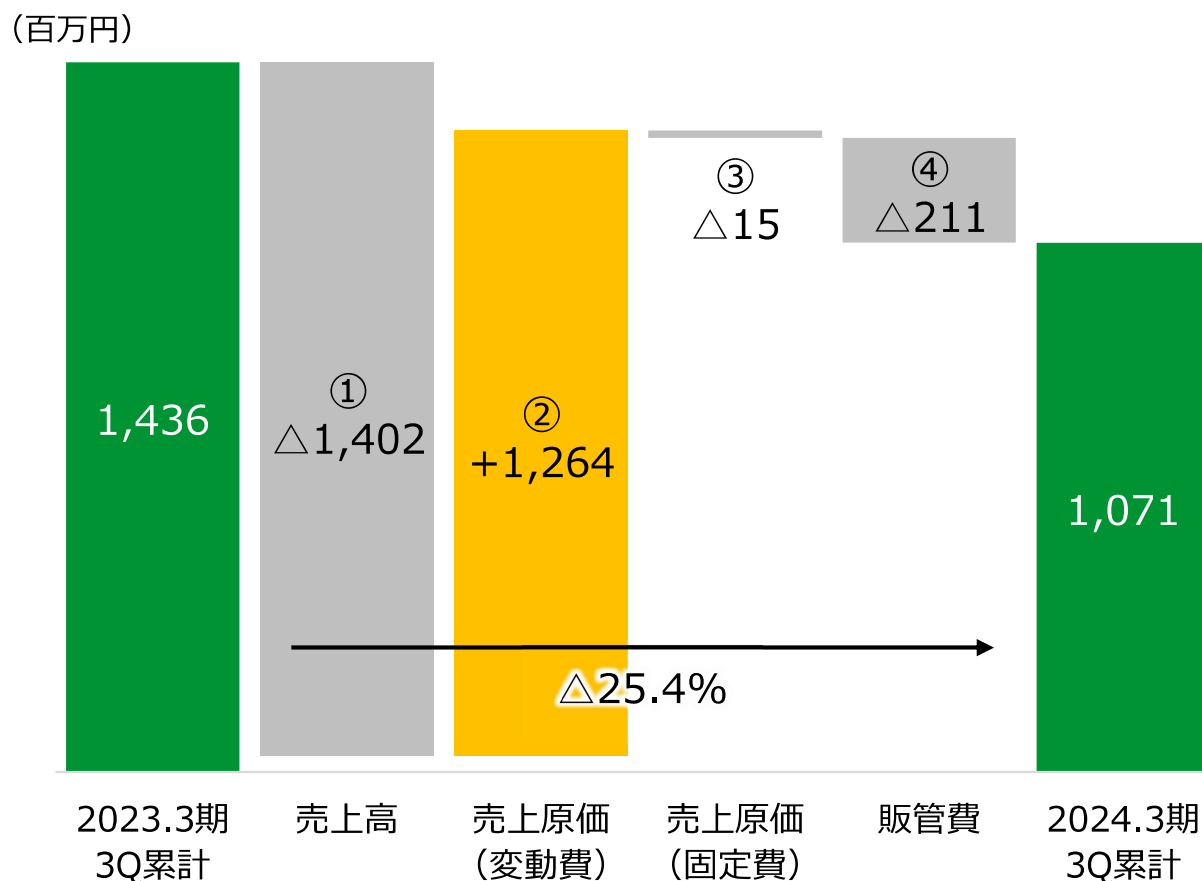
- 茨城の電池関連設備が停止（約280百万円の売上減）
- 半導体関連の回復は弱い、その他 有機・無機化学品が微増

※ グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております



# 営業利益増減要因分析（前年同期比）

- 化学品事業の売上が大きく減少、顧客稼働低迷に伴う数量減少の影響大
- 当初の計画どおり 人員増・ベースアップ・職場改善等、**未来への投資は継続して実施**



## ①売上高

- 〈-〉【RU】半導体、電子部品顧客の稼働低迷
- 〈+〉【RC】3拠点で取扱数量が増加
- 〈-〉【化】単価↓、半導体×、電池設備3Q停止

## ②売上原価（変動費）

- 〈+〉【化】半導体向けの原材料が減少、単価低下
- 〈-〉【RC】外部処理先への産廃処理費が増加
- 〈+〉【RU】廃棄物原料の買取費用減少  
(前年1Qに大型スポット案件)

## ③売上原価（固定費）

- 〈-〉**人員増、ベースアップ**による人件費増加
- 〈-〉投資設備の稼働開始による減価償却費増加
- 〈+〉電気・ガス代が減少（前期比で単価↓）

## ④販管費

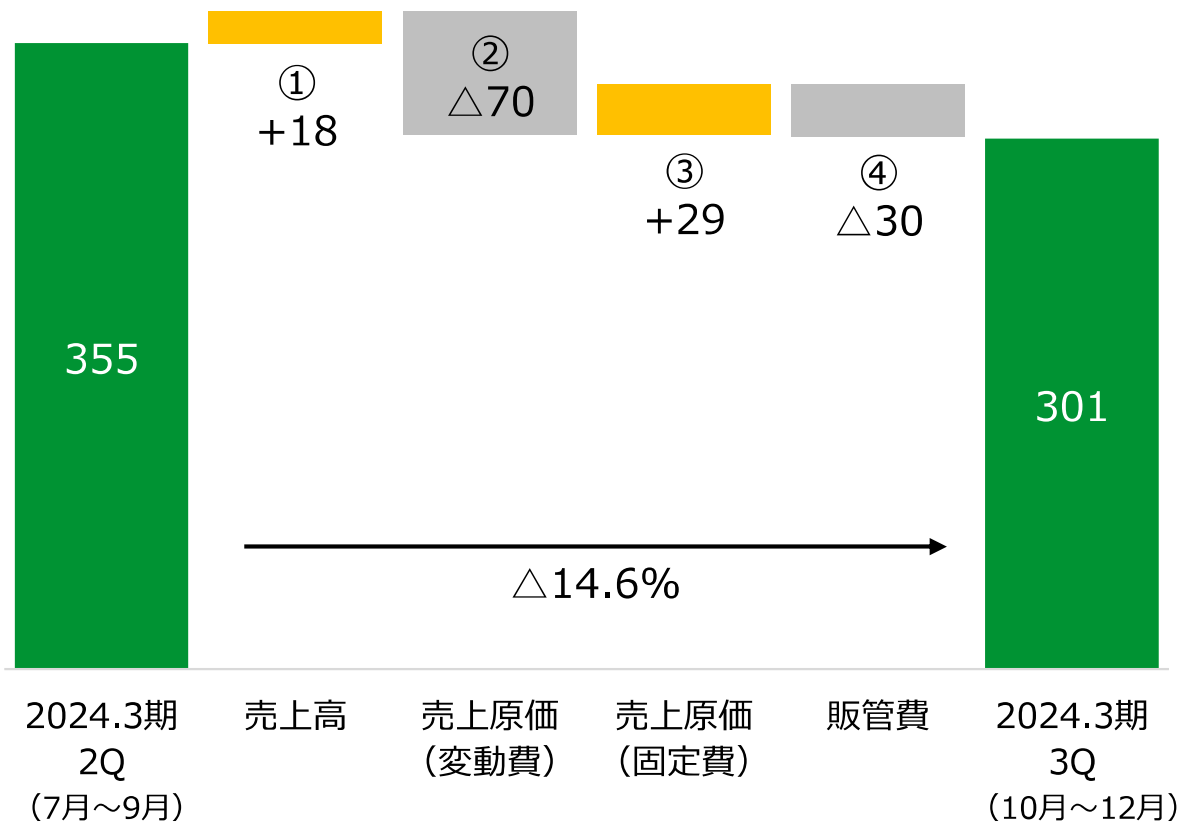
- 〈-〉**人員増、ベースアップ**による人件費増加
- 〈-〉**職場改善費用、DX投資、教育研修費**増加

〈+〉利益ヘプラス要因、〈-〉利益ヘマイナス要因  
【RU】リユース、【RC】リサイクル、【化】化学品、【自】自動車

# 営業利益増減要因分析（前四半期比）

- サンワ南海リサイクルでの引取廃棄物に偏りがあり、**引取／出荷の付加価値創出が一時的に低下**
- 取扱数量の増加に伴い外部運送を多用、外部倉庫の保管費用も一時的に増加

（百万円）



## ①売上高

- 〈+〉【RU】リン酸は×、溶剤は徐々に回復基調
- 〈+〉【RC】3拠点で取扱数量が増加
- 〈-〉【化】電池主力設備を計画どおり停止

## ②売上原価（変動費）

- 〈+〉【化】半導体向けの原材料が減少、単価低下
- 〈-〉【化】棚卸資産の評価額低下
- 〈-〉【RC】**外部への産廃処理費増（数量・単価）**
- 〈-〉【RC】取扱数量増で**外部運送コスト増加**

## ③売上原価（固定費）

- 〈+〉年末の工場修繕費が4Qへ

## ④販管費

- 〈-〉職場改善や教育投資は継続実施
- 〈-〉リユース原料の増加で**外部保管費用増加**

〈+〉利益へプラス要因、〈-〉利益へマイナス要因

【RU】リユース、【RC】リサイクル、【化】化学品、【自】自動車

# 貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月期末	2024年3月期 3Q末	前期末比 増減額	コメント
流動資産	7,506	6,382	△1,124	現預金、受取手形・売掛金が減少
固定資産	13,335	13,493	+157	高純度溶剤製造設備の増設工事が進行し 建設仮勘定が増加
資産合計	20,842	19,876	△966	－
流動負債	4,972	4,314	△657	1年以内長期借入金の返済が進行
固定負債	4,836	3,802	△1,033	長期借入金の返済が進行
負債合計	9,808	8,117	△1,691	－
純資産合計	11,033	11,759	+725	利益獲得
負債・純資産合計	20,842	19,876	△966	－



# 2024年3月期 業績予想



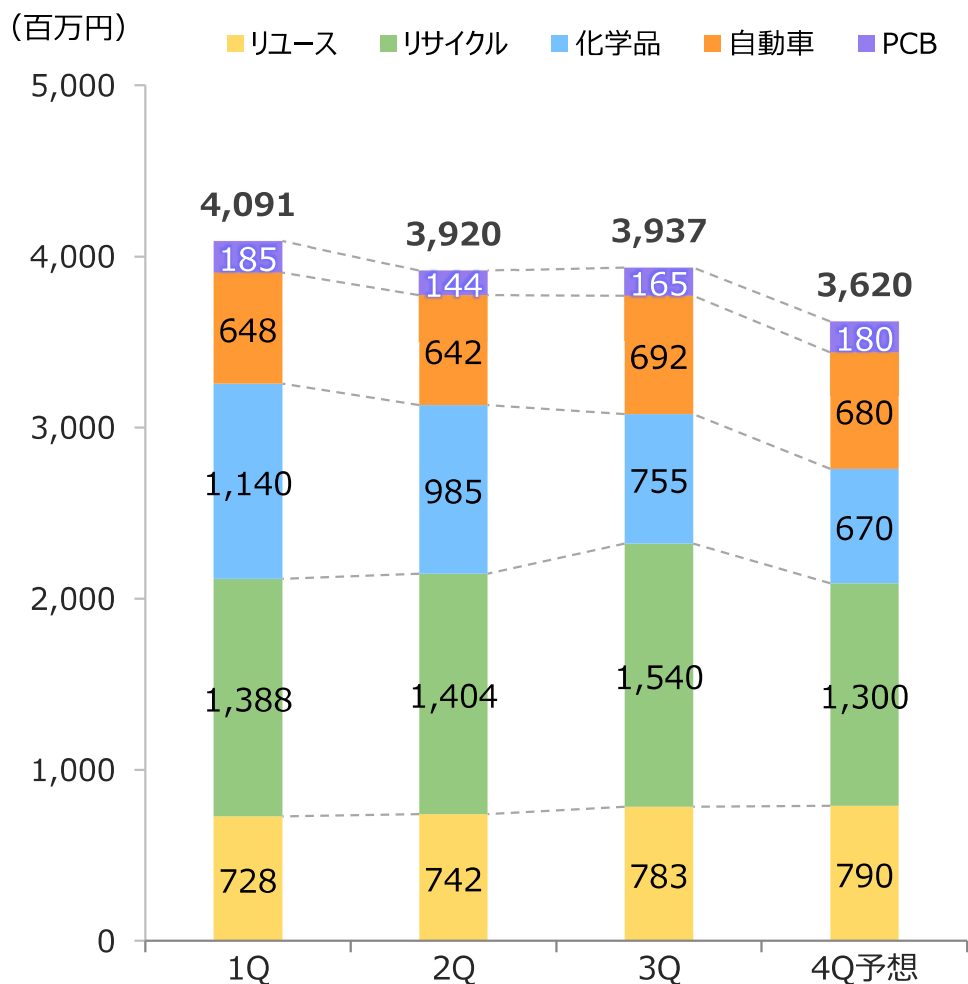
- 半導体・化学業界の低迷長期化、能登半島地震及び自動車業界の不正問題等により受注減少
- 3Q決算及び2024年1月の業績動向、期末に向けた見通しを踏まえ、売上・利益を下方修正

(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期					
	実績	売上高比率	修正計画	売上高比率	増減額	増減比	前回予想 11/10時点	前回予想比
売上高	17,367	100.0%	15,570	100.0%	△1,797	△10.3%	16,000	△2.7%
売上総利益	4,981	28.7%						
営業利益	1,885	10.9%	1,150	7.4%	△735	△39.0%	1,620	△29.0%
経常利益	1,936	11.2%	1,170	7.5%	△766	△39.6%	1,640	△28.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,325	7.6%	800	5.1%	△525	△39.6%	1,160	△31.0%



- 能登半島地震の影響により、北陸地方を中心に一部の顧客稼働が減少 ⇒ **廃棄物数量が減少**
- 中東情勢の緊迫化により、海運に影響 ⇒ 化学品材料の一部に調達遅れ

## 2024年3月期 3Qまでの実績 対 4Q見通し



## 事業種類別概況



### リユース事業

- ・ 溶剤系の原料収集は進んでおり、3Q末時点で一定量の在庫を保有
- ・ 再生製品を製造し、販売活動に注力



### リサイクル事業

- ・ 北陸を中心に1月の廃棄物収集量が大きく減少
- ・ 2月以降は回復に向かうも、若干の影響は残る見通し



### 化学品事業

- ・ 半導体関連の需要は引き続き弱含み
- ・ 溶剤調達のリスク分散（脱China）は海運情勢により、若干遅れ
- ・ 来期以降に向けた設備投資は概ね計画どおりに進捗



### 自動車事業

- ・ 解体作業（特定建設業）の大型仕掛案件あり ⇒ 4Qに売上
- ・ 自動車業界は一時的な稼働減も、影響は限定的で徐々に回復見通し



### PCB事業

- ・ PCB取引をきっかけに他事業での取引へ展開する活動に注力

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。